

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	壮年期等保健事業						担当部	健康福祉部																								
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	保健センター																								
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	成人保健係																								
	総合計画 分野別計画	主目的	3 保健福祉		10 健康づくり		1 体の健康づくりへの取組みを支援する																										
		副目的	10-2		13-4																												
	予算区分	款	4		項	1		目	4		大	3		中	1																		
	根拠法令・個別計画	健康増進法、健康こまきいきいきプラン																															
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	概ね40歳以上の市民を対象として、主体的に体や心の健康づくりに取り組めるようにし、介護を要する状態に陥ることなく健康で生き生きとした生活が送れるよう支援する。																															
	内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容</p> <p>健康教育事業(健康教室、地区健康教育の実施) 健康相談事業(定例健康相談、医師健康相談、予防相談、老人健康相談の実施) 機能訓練事業(パークアリーナ小牧で実施する筋力アップトレーニング) 訪問指導事業(疾病や要介護予防が必要な人に対する訪問指導の実施)を実施した。なお、事業については医師健康相談及び老人健康相談を除き、主に正職員で対応した。 いきいき世代の歯科健診事業は、40歳、50歳、60歳、70歳を対象に歯科医院に委託し、歯科健診を実施した。</p> <p>◆24年度直接経費の内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>健康まつり開催委託料</td> <td>4,090千円</td> <td rowspan="5">◆その他の財源の内訳 平成24年度までは、「健康まつり事業負担金」として国保より420千円繰り入れがあったが、平成25年度の体制の変更に伴い、名称を変更し「健康展事業負担金」として420千円繰り入れ。</td> </tr> <tr> <td>老人健康相談事業委託料</td> <td>2,253千円</td> </tr> <tr> <td>成人歯科健診事業委託料</td> <td>964千円</td> </tr> <tr> <td>いきいき世代個別歯科健診事業委託料</td> <td>3,130千円</td> </tr> <tr> <td>謝礼、需用費等</td> <td>5,696千円</td> </tr> </table> <p>◆25年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康日本21こまき計画の評価として市民アンケート調査を実施。その結果をもとに、計画の進捗状況を確認、見直しをして、次期計画の策定に反映させる。 年1回市民を対象に市民会館で実施していた「健康まつり」を廃止し、市内6地区で「地区健康展」として実施する。自分の住む身近な場所で、自分の身体に関心を持ち、健康維持をしてもらうための健康確認、情報の提供等の場とする。 <p>◆25年度直接経費の内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>老人健康相談事業委託料</td> <td>2,300千円</td> </tr> <tr> <td>成人歯科健診事業委託料</td> <td>964千円</td> </tr> <tr> <td>いきいき世代個別歯科健診事業委託料</td> <td>6,500千円</td> </tr> <tr> <td>健康日本21こまき計画策定委託料</td> <td>3,000千円</td> </tr> <tr> <td>謝礼、需用費等</td> <td>7,850千円</td> </tr> </table>											健康まつり開催委託料	4,090千円	◆その他の財源の内訳 平成24年度までは、「健康まつり事業負担金」として国保より420千円繰り入れがあったが、平成25年度の体制の変更に伴い、名称を変更し「健康展事業負担金」として420千円繰り入れ。	老人健康相談事業委託料	2,253千円	成人歯科健診事業委託料	964千円	いきいき世代個別歯科健診事業委託料	3,130千円	謝礼、需用費等	5,696千円	老人健康相談事業委託料	2,300千円	成人歯科健診事業委託料	964千円	いきいき世代個別歯科健診事業委託料	6,500千円	健康日本21こまき計画策定委託料	3,000千円	謝礼、需用費等	7,850千円
		健康まつり開催委託料	4,090千円	◆その他の財源の内訳 平成24年度までは、「健康まつり事業負担金」として国保より420千円繰り入れがあったが、平成25年度の体制の変更に伴い、名称を変更し「健康展事業負担金」として420千円繰り入れ。																													
老人健康相談事業委託料	2,253千円																																
成人歯科健診事業委託料	964千円																																
いきいき世代個別歯科健診事業委託料	3,130千円																																
謝礼、需用費等	5,696千円																																
老人健康相談事業委託料	2,300千円																																
成人歯科健診事業委託料	964千円																																
いきいき世代個別歯科健診事業委託料	6,500千円																																
健康日本21こまき計画策定委託料	3,000千円																																
謝礼、需用費等	7,850千円																																
受益者負担	無																																

コスト	費用			単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額	
		直接経費			千円	10,933	15,489	16,136	20,614
費用	正職員	従事者数	人	3.50	3.50	3.50	3.50		
		人件費	千円	18,655	18,655	18,655	18,655		
	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
		人件費	千円	0	0	0	0		
費用合計				千円	29,588	34,144	34,791	39,269	
対前年比				%		115.3	101.8	112.8	
財源	一般財源				千円	28,448	32,172	32,649	35,658
	国・県支出金				千円	720	1,552	1,722	3,191
	その他財源				千円	420	420	420	420

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	健康教育実施数	回	目標		251	273	300
実績				295	295	287	
健康相談実施数	回	目標		238	247	252	260
		実績		239	260	252	
いきいき世代個別歯科健診受診率 (H23年度開始)	%	目標		-	15.0	15.0	15.0
		実績		-	7.7	7.4	
績	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	健康づくりに日頃から気をつけている市民の割合	%	目標		78	79	80
実績				74.1	71.9	74.5	
介護保険2号被保険者(40歳～64歳)の「要支援1」の認定者の割合	%	目標		0.030	0.040	0.033	
		実績		0.040	0.033	0.029	

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	<p>(1)健康教育実施回数は、保健センター企画と住民が主体的に健康について学ぶ機会を計画し依頼があった回数の和であるが、地区からの依頼回数が減少しており目標を達成できていない。成果指標にあげた「健康づくりに気をつけている市民の割合」を見ても増減はあるも横ばいとなっており、目標に近づいていない。</p> <p>(2)健康相談実施数は、24年度は目標回数を実施した。</p> <p>(3)15%の受診率を目標に23年度から開始したいきいき世代個別歯科健診は、23年度7.7%、24年度7.4%であった。</p> <p>(4)介護保険2号被保険者(40歳～64歳)の「要支援1」の認定者の割合は減少傾向にある。</p>				
	事業実施における課題	<p>壮年期世代が自分の健康について関心を持ち、自主的に健康づくりや介護予防に取り組みができるよう動機付けに力を入れ、より一層保健連絡員と連携し、健康づくりや介護予防に関する取り組みが継続できるようにする必要がある。</p>					
	事業を縮小・廃止したときの影響	<p>市民の健康寿命の延伸や疾病予防に影響</p>					
改善内容	平成25年度の	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	<p>(1)住民が主体的に健康づくりに取り組む事業として、行政主体で年1回実施していた健康まつりを住民主体で自分が住む身近な場所6地区での開催とした。</p> <p>(2)いきいき世代歯科健診受診率向上に向けて、医療機関、歯科医療機関、市内関係機関等において周知ポスターを掲示し、受診率の向上を図った。</p> <p>(3)糖尿病と歯周病との関係について着目し、糖尿病の重症化予防対策として医療機関及び歯科医療機関に対し糖尿病連携手帳を配布し関係機関において糖尿病患者の身体状況の共有化を図った。</p>				
	平成26年度の	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
事業の方向性	判定理由	<p>健康増進法により自治体が実施すべき事業である。</p> <p>また、超高齢化社会を控え、医療費や要介護認定者の増加を防ぐためにも必要な事業。</p>					
	26年度以降の改善案	<p>今年度、健康日本21こまき計画の評価を実施。その結果を平成26年度策定する第2次計画に反映し、市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組めるよう、地域・関係機関と連携し、積極的に支援していく。</p>					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	<p>本事業は、概ね40歳以上の市民を対象に健康増進を推進する重要な事業として、年々、事業規模が拡大傾向となっている。本事業では、多くの小事業を実施しているが、より効果の高い事業へ改善するためには、事業を拡大する一方でなく、何らかの指標をもって取捨選択をしていく必要がある。そのため、改めて各事業の実施内容とその成果を精査し、効果が低いと思われる事業、受診率や利用者の少ない事業などについては、廃止・縮小を含めた見直しを行う必要がある。</p> <p>また同時に、実施内容をより必要な市民に対して周知できるよう、参加者数の多い他市を参考にするなど、より有効な実施内容、PR方法の検討が必要である。</p>